

4. たんねもち

種 苗 登 録 第 593 号

登 録 年 月 日 昭和59年9月5日

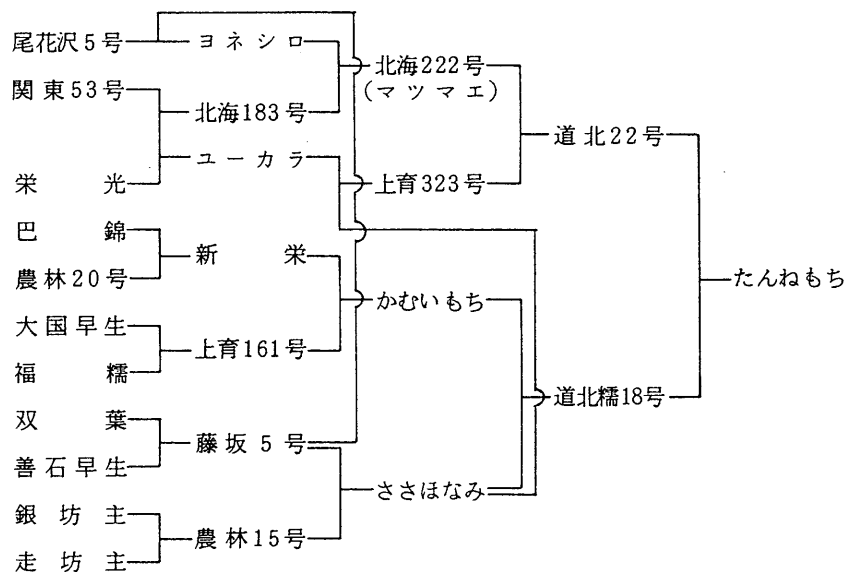
旧 系 統 名 上 育 糯 381 号

育 成 場 所 上 川 農 業 試 験 場

1. 来 歴

「たんねもち」は、昭和49年に北海道立上川農業試験場において交配した「道北22号」×「道北糯18号」の雑種後代から育成された。F₁は49年冬期温室で養成し、F₂は翌年普通圃場で栽培し、F₃は同年冬期温室で栽培し全刈採種した。51年、F₄集団について個体選抜を行い、52年、系統選抜を行った。53年以降は、「永系78396」として、系統の選抜固定を図るとともに、生産力検定試験ならびに特性検定試験を実施した。55年から「上育糯381号」の地方番号を付し関係機関に配付し、地方適否を検討してきた。その結果有望と認められ、昭和58年に北海道の奨励品種に採用され、「たんねもち」と名付けられた。

系 譜 図



2. 特性の概要

稈長は「かむいもち」より短く、穂長は長く、穂数は少ない。草姿は「かむいもち」より良いが、出穂期～成熟期の直立性は「おんねもち」よりいくらか劣る。粒着密度は「かむいもち」よりやや密粒で割粃は「かむいもち」「おんねもち」より少ない。収褐変は「おんねもち」より少ないが、「かむいもち」よりやや多い。

出穂期は「おんねもち」と同じで、早生の晩に属する。成熟期は登熟日数が「おんねもち」「かむいもち」より長く、成熟期は「かむいもち」並かやや早く、熟期は中生の早。障害型耐冷性は「かむいもち」「おんねもち」並の“やや強”。遅延型耐冷性は「かむいもち」「おんねもち」より強いが「イシカリ」より弱く“中”。いもち病耐病性は「かむいもち」「おんねもち」並かやや勝る。耐倒伏性は「かむいもち」よりかなり強く、「おんねもち」よりやや強い、“やや強～強”である。収量は「かむいもち」「おんねもち」に勝り、多収性である。

糯種で粒形は「かむいもち」よりやや長く中粒で、粒大はやや大きい。玄米品質は「かむいもち」より良く、特に玄米白度は明らかに良好で「おんねもち」並。搗精歩合は「かむいもち」とほぼ同じ。食味、加工適性は「かむいもち」より良好で、「おんねもち」とほぼ同じ。

3. 適 地 等

「たんねもち」は「かむいもち」が栽培されている道央部とこれに準ずる地帯の「かむいもち」に替えて、また、上川北部、留萌北部、十勝、網走の「おんねもち」に配合して作付し、良質糯米の安定生産を図る。

奨励品種採用：北海道（昭和58年～）

4. 栽培上の注意

- (1) 本品種は登熟日数が長いので、登熟が遅れないよう多肥を避ける。
- (2) 北川北部、留萌北部、十勝及び網走での栽培に当たっては、必ず成苗を用いる。
- (3) 植え付け株数が少ないと、必要穂数が得られない場合があるので、栽植密度を高め、初期の茎数確保を図る。
- (4) 耐冷性は、「やや強」であるが不十分なので、適期に深水かんがいを励行する。

5. 育成者氏名

佐々木一男（交配～F₇）、和田 定（交配～F₈）、森村克美（交配～F₄）、本間 昭（交配～F₇）、国広泰史（交配～F₇）、佐々木多喜雄（交配～F₁₀）、沼尾吉則（交配～F₁₀）、新橋 登（F₅～F₇）、江部康成（F₇）、柳川忠男（F₈～F₁₀）

6. 試験成績

(1) 特性調査

品 種 名	稈		芒		稈先	粒着	割れ粳	玄 米					白度
	細太	剛柔	多少	長短	色	密度	多 少	粒 形	大小	粒 色	光沢	品 質	
たんねもち	や太	剛	少	極短	黄白	や密	少	中	中	臘-白	や良	上下上	や良
かむいもち	中	や柔	や少	短	黄白	中	中	中	や小	や臘	中	上下下	中
おんねもち	中	や剛	中	や短	黄白	中	や少~中	中	や小	臘-白	や良	上下上	や良
ユキモチ	や細	柔	中	や短	黄白	中	や多	中~や円	中	白	や良	上中下	良

(2) 生育・収量調査（育成地）

栽培 条件	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成 熟 期			玄米重 (Kg/a)	玄米重 比 率	玄 米			割 粳 (%)
				稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)			千粒重 (g)	等 級	品 質	
成 苗・ 標 肥	たんねもち	7.29	9.24	60	16.7	464	58.1	118	20.7	2下	上下上	23.5
	(標) かむいもち	8. 3	9.26	70	15.4	482	49.3	(100)	20.0	3上	上下下	38.7
	(比) おんねもち	7.28	9.18	58	15.4	576	50.6	103	19.8	2下	上下上	38.0
	(参) ユキモチ	8. 4	9.23	71	16.1	571	47.1	96	21.9	3上	上下中	57.9
成 苗・ 多 肥	たんねもち	7.31	(9.24)	65	16.8	536	59.3	117	20.3	2下	上下中 ~上下上	22.8
	(標) かむいもち	8. 6	(9.27)	74	15.7	525	50.9	(100)	19.6	2限	上下下	43.2
	(比) おんねもち	7.30	(9.18)	61	15.5	703	53.5	105	19.6	2下	上下中	34.2
	(参) ユキモチ	8. 9	(9.27)	75	16.3	638	42.4	83	21.3	2限	上下中	60.5
中 苗・ 標 肥	たんねもち	8. 4	10. 1	60	15.6	518	52.4	125	21.2	2下	上下上	25.6
	(標) かむいもち	8. 9	10. 5	71	15.6	548	42.0	(100)	20.0	3下	中上上 ~上下下	36.5
	(比) おんねもち	8. 2	10. 1	57	14.5	652	43.3	103	20.3	3中	上下上	32.7
中 苗・ 多 肥	たんねもち	8. 2	10. 3	64	15.9	656	69.4	116	21.0	3中	上下上	32.6
	(標) かむいもち	8. 9	10. 8	79	16.0	672	60.0	(100)	19.6	3中	上下下	46.0
	(比) おんねもち	8. 1	9.26	65	14.8	851	54.2	90	19.9	外	上下上	48.6

注) 試験年次: 成苗標肥 '78~'82 中苗標肥 '81~'82
成苗多肥 '79~'82 中苗多肥 '82

(3) 特性検定試験

品 種 名	葉 い も ち	穂 い も ち	耐 冷 性	
			障 害 型	遅 延 型
たんねもち	やや強	中	やや強	中
かむいもち	中	中	やや強	やや弱
おんねもち	中	やや弱～中	やや強	やや弱
ユキモチ	中	中	中	—
はやこがね	中	やや強	や強～強	や強～強
イシカリ	中	やや強	やや強	やや強
キタヒカリ	やや弱	やや弱	—	—

注) いもちは上川農試5カ年, 障害型は上川農試冷水5カ年, 遅延型は上川農試
気象箱昭和57年の結果である。

(4) 食味試験(育成地: 基準品種かむいもち)

品 種 名	外 観			粘 り	こ し	総 合 評 価	備 考
	白 さ	光 沢	き め				
たんねもち	0.45	0.65	0.62	0.59	0.47	0.68	昭56,57 上川農試産米 3回平均 13～19名
おんねもち	0.47	0.46	0.38	0.07	0.09	0.26	
ユキモチ	0.26	0.26	0.09	0.54	0.44	0.9	